Ⅲ　事業実施状況

１　生涯学習の総合的推進及び支援

（１）生涯学習に係る情報提供・調査研究

①　生涯学習情報の提供・相談（協会本部）

ア　学習相談

生涯学習講座等の学習情報を提供するほか、学習計画や講座プログラムの立て方、学習場所の確保、グループの運営方法など、学習者や学習グループ、生涯学習機関等からの様々な相談に応じました。

相談場所	ハーバーランド庁舎６階　生涯学習情報コーナー
相談時間	月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）　９：００～１７：１５
相談方法	面談、電話、ＦＡＸ、メール 電話番号　０７８－３６０－８５３３（相談専用）
相談件数	372 件

イ　学習情報の提供

県民のライフスタイルの創造や、参画と協働による地域社会への貢献についての意識啓発を図るため、県民の生きがいと健康づくりに関する情報などを紹介するニュースレターを年３回作成し、ホームページにより発信を行いました。

講座・講習会、イベント、学校、資格、施設等に関するチラシ・パンフレット・冊子・図書等を配架し、各種の生涯学習に関する情報を提供しました。

②　生涯学習の充実に向けた調査・研究（協会本部）

県内の生涯学習の一層の充実を図るため、公益財団法人兵庫県生きがい創造協会の各種事業運営に関し、自由な立場で意見を交わす兵庫県生きがい創造協会運営懇話会を開催し、協会経営ビジョンの策定など主要課題について意見を聴取しました。

なお、経営ビジョンについては、協会運営の基本指針・協会事業の行動指針として策定し、平成 29 年 11 月に公表しました。

③　生涯学習情報ネットワークシステム『ひょうごインターキャンパス』（協会本部）

学習したい人が自分に適した学習情報をタイムリーに入手でき、また自己の学習成果を発信できるように、教育機関や企業、行政など様々な生涯学習機関の参画を得、インターネットを活用した多彩な学習情報を発信しました。

参画機関数	506 機関
ページビュー	445 千件

④　生涯学習リーダーバンク（協会本部）

学習によって得た知識や技能を生かして、ボランティア指導者として学習グループなどの活動支援を希望する人を「生涯学習リーダーバンク」に登録し、支援を希望する学習グループ等に紹介しました。また、登録情報は登録者名簿を作成し、生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」に掲載しました。

バンク登録人数：246 名

⑤　生涯学習推進アドバイザーの派遣（協会本部）

市町や生涯学習関係機関が抱える様々な課題の解決を支援するため、生涯学習に関する豊富な知見と実績を有する有識者を「生涯学習推進アドバイザー」として派遣しました。

・派遣件数　19 件

⑥　生涯学習公開講座（いなみ野・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

高齢者に総合的・体系的な学習の機会を提供しています高齢者大学において、多様な分野における知識の充実を目的として各界の著名人による公開講座を開催し、広く県民に対して高齢者大学への関心を高めるとともに、生涯学習への意識啓発を図りました。

開催場所 （高齢者大学名）	講座内容	開催日・参加者数
いなみ野学園 大講堂 （いなみ野学園）	「時代を読み解く 　　～正しい判断は正しい情報から～」 講 師:ニュースキャスター、シンクタンク「株式会社　大阪綜合研究所」代表　辛坊治郎	開 催 日:平成29年12月10日 参加者数:450名
阪神シニアカレッジ伊丹学習室 （阪神ｼﾆｱｶﾚｯｼﾞ）	第4回シニアのスピーチ会 「あなたの輝いていた頃はいつですか？」 　～グループ回想法で認知症を予防～ 講　師：産業カウンセラー　森山　宣子	開 催 日:平成30年2月18日 参加者数:100名
宝塚ソリオホール （阪神ｼﾆｱｶﾚｯｼﾞ）	「ふるさとは夢のみなもと」 講　師：イラストレーター、絵本作家 　　永田　萌	開 催 日:平成29年11月30日 参加者数:200名
嬉野台生涯教育センター （うれしの学園）	記念講演 演題：「人がいるから　笑いがある」 講師：落語家　てんご堂　雅落	開 催 日:平成29年11月7日 参加者数:297名
但馬文教府 （みてやま学園）	特別公開講座 （但馬文教府活性記事業(拡充)） 講師：たっきゅう 「大道芸で笑って健康に！　～たっきゅうさんのユーモアセラピー～」 講師：神戸学院大学教授　中野雅至 「元気な高齢者のためのやさしい経済学」 講師：ラジオパーソナリティ　谷五郎 「笑って、長生きせなソンよ」 講師：安泰寺住職　ネルケ無法 「遠路はるばるニッポンへ　～青い目が見たZEN～」 講師：淡路人形座 「戎舞」 講師：大神楽　豊来家大治朗 「太神楽」	開 催 日:平成29年5月26日 参加者数:183名 開 催 日:平成29年8月4日 参加者数:175名 開 催 日:平成29年9月29日 参加者数:192名 開 催 日:平成29年11月17日 参加者数:186名 開 催 日:平成29年10月21日 参加者数:198名 開 催 日:平成30年1月19日 参加者数:184名

西播磨文化会館 （ゆうゆう学園）	「笑顔相続」～そのために今できること～ 講　師：ソニー生命保険会社 ライフプランナー　八代醍　達雄 「身近な生活の歴史から～お正月・節分とは何か？」 講　師：園田学園女子大学名誉教授 田辺　眞人 「テレビの『健康番組』のウソと真実」 講　師：放送作家・脚本家　長谷川　勝士 「新聞記者、取材の現場から」 講　師：神戸新聞姫路支社　前支社長 増田　和郎	開 催 日:平成29年7月14日 参加者数:209名 開 催 日：平成30年1月26日 参加者数：240名 開 催 日：平成30年2月9日 参加者数：268名 開 催 日：平成30年2月23日 参加者数：205名
淡路文化会館 （いざなぎ学園）	「笑う顔には福が来る」 講師：三遊亭楽団治	開 催 日:平成29年12月1日 参加者数:109名
	日本遺産認定記念セミナー(第１回) 「日本遺産認定の概要と淡路「国生み創生神楽」」 講師：淡路市教育委員会教育部長 伊藤宏幸 くにうみ神話のまちづくり実行委員会 大杖康之	開 催 日:平成29年12月16日 参加者数:71名
	「戦国武将の家紋と名字で探る我が家のルーツ」 講師：家紋World主宰 田中豊茂	開 催 日：平成30年1月12日 参加者数：46名
	日本遺産認定記念セミナー(第２回) 「銅鐸から何はわかるのか～南あわじ松帆銅鐸発見の意義～」 講師：奈良文化財研究所名誉研究員 難波洋三	開 催 日:平成30年1月27日 参加者数:80名
	日本遺産認定記念セミナー（第３回） 「淡路人形浄瑠璃の魅力について」 講師：淡路人形協会理事長　正井良徳 淡路人形座支配人　坂東千秋	開 催 日:平成30年2月17日 参加者数:92名

（２）生涯学習ネットワークの推進

①　公民館連合会、高齢者学習研究協議会との連携による研修会や公民館大会の開催（協会本部）

公民館連合会や高齢者学習研究協議会等の運営支援や研修を行い、生涯学習事業の質的向上に取り組みました。

ア　新任社会教育関係職員等研修（再掲）

イ　社会教育関係職員スキルアップ研修（再掲）

ウ　社会教育主管課長研修（再掲）

エ　第 39 回全国公民館研究集会兵庫大会

（第 65 回近畿公民館大会兵庫大会、第 60 回兵庫県公民館大会）

開催日：平成 29 年 11 月 30 日～12 月 1 日

場　所：神戸ポートピアホテル

参加者：８０３名

②　関西シニア大学校交流事業（協会本部）

関西の高齢者大学学生・ＯＢ等が一堂に会し、互いに知識を深め、交流の輪を広げることを目的として実施している「シルバー大学校共同講義」（徳島県で開催）に参加しました。

開催日：平成 29 年 10 月 27 日～28 日

場　所：徳島県内

内　容：＜1 日目＞　講義２題・見学、活動報告、交流会

＜2 日目＞　講義

参加者：130 名（17 校）

③　生活創造情報プラザ（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動等、県民による主体的な活動（生活創造活動）の拠点施設として「生活創造情報プラザ」を運営しました。

〈延べ利用者数〉

実施機関	嬉野台生涯教育ｾﾝﾀｰ	但馬文教府	西播磨文化会館	淡路文化会館
利用者数	8,270 名	15,935 名	26,425 名	8,554 名

④　地域コミュニティーの生涯学習支援（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

豊かな地域コミュニティの創造、県民交流広場等に関するテーマで県民自らが企画し、運営する講座の開設や県民交流広場等コミュニティの広域的なネットワーク化を支援しました。

ア　ネットワーク化支援

実施機関	内　　容
嬉野台生涯教育センター	北播磨地域ネットワーク化支援事業の実施 1　開催日　平成 29 年 12 月 20 日 2　参加者　8 名 3　内　容　三草ふれあい広場を訪問し、県民交流広場運営に係るノウハウ等の情報交換を行い、北播磨を中心とした広域的なネットワークの構築支援を図りました。
但馬文教府	但馬地域ネットワーク化支援事業の実施 生活創造情報プラザグループ（１９会三昧クラブ、みやびの会）による事業の実施を支援しました。
西播磨文化会館	西播磨地域ネットワーク化支援事業の実施 県民交流広場事業実施地区と生活創造応援隊の交流会 1　ふるさと交流会 2017 ①　開催日　平成 29 年８月 30 日 ②　参加者　83 名 ③　内　容　生活創造応援隊２名と事務局が参加。５つのテーマごとに分かれ、事例報告、テーブルセッションが行われた。その内３つのテーマに参加し意見交換等を行いました。

	2　佐用町石井地域づくり協議会での紙漉き体験・行燈作りと交流会 ①　開催日　平成 29 年 9 月 11 日 ②　開催場所　佐用町石井体育館（石井地域づくり協議会） ③　参加団体・参加者　15 名 ④　内容：紙漉き体験・行燈作りと交流 3　ふれあいの祭典　西播磨ふれあいフェスティバル ①　開催日　平成 29 年 10 月 29 日 ②　場所　播磨科学公園都市 ③　参加団体・参加者　14 名 ④　内容　三日月地域づくり協議会・江川地域づくり協議会、千種まちづくり推進委員会の取材
	西播磨地域ネットワーク化支援事業の実施 県民交流広場事業実施地区の交流会 1　開催日　平成 30 年 2 月 27 日 2　開催場所　西播磨文化会館 3　参加者　84 名 4　内容　紙漉き体験・鎧兜試着体験、赤松地区村づくり推進委員会の実践発表、「県民交流広場の成功事例に学ぶ－継続的な活動の課題と工夫－」と題して講演会を行いました。
淡路文化会館	淡路地域ネットワーク化支援事業の実施 1　「国生みの島フェスティバル」での出展（２広場） 2　生活創造新聞「ポケットあわじ」での活動紹介記事の掲載

イ　コミュニティ応援隊派遣等

実施機関	内　　容
但馬文教府	創作体験として、和太鼓体験(2)、将棋(8)、特別支援教育研修会(1)の講座にコミュニティ応援隊（分野別学習支援）を招聘し、講座を開催（派遣件数 11 件） 但馬ゆうゆう塾の実施：11 講座 13 回実施（受講者総数 450 人）

⑤　教育機関等との連携（協会本部・いなみ野・阪神・嬉野台・但馬・西播磨）

（別掲Ｐ１５～１７）

⑥　美術館等の県内文化施設との連携

（協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

協会の高齢者大学等と県内の美術館や博物館など各種の文化施設とが連携し、それぞれの施設や事業について、相互に広報や情報交換を行うとともに、高齢者大学等の学生を対象とした文化施設の割引利用制度の実施のほか、文化施設から高齢者大学等への講師派遣、高齢者大学等での文化施設事業のＰＲ協力などにより、学生による生涯学習活動の一層の推進と各文化施設の利用促進を図りました。

（３）生涯学習リーダー(地域活動リーダー)等の養成

<table>
<tr><th>事業名</th><th>内　　容</th><th>実　　績
（日時・場所・回数・人数等）</th></tr>
<tr><td>①ふるさとひょうご創生塾
（協会本部）</td><td>魅力あるリーダーシップを持った、ふるさとづくりの「新しい地域リーダー」を育成するため、基礎的な力を実際の地域活動で応用できる力へとスキルアップを図る「ふるさとひょうご創生塾」を運営しました。
平成 29 年度実践活動(第 21 期生)
①おせっかい復活!!～ふれあいｳｫｰｸで～
ふれあいｳｫｰｸﾗﾘｰをすることで､地域ぐるみで子ども達を守り育む地域を作る
②あなたに～健やかライフ!1･2･3
高齢者に健康づくりのﾒﾆｭｰを提供し、心・体・脳の元気な高齢者を増やす
③シニアとユースのトーク交流
世代を超えた対話や交流を行い、シニアに元気を、ﾕｰｽに知恵を提供する</td><td><table><tr><th>期別</th><th>在籍者数</th><th>定員</th></tr><tr><td>21 期</td><td>13 名</td><td>30 名</td></tr><tr><td>22 期</td><td>17 名</td><td>30 名</td></tr><tr><td>計</td><td>30 名</td><td>60 名</td></tr></table>【参考】平成 30 年度<table><tr><td>23 期</td><td>21 名</td><td>30 名</td></tr></table>開催日：
21 期 第 4 土曜他(計 14 回)
平成 29 年 4 月 15 日
～30 年 3 月 17 日
22 期 第 2・3 土曜他(計 23 回)
平成 29 年 5 月 20 日
～30 年 3 月 10 日
場所：ﾎﾞﾗﾝﾀﾘｰﾌﾟﾗｻﾞｾﾐﾅｰ室
卒塾者:13 名(延べ 574 名)</td></tr>
<tr><td>②いなみ野学園研究生制度の実施
（いなみ野）</td><td>生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院修了者を対象として、講師や指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を実施しました。</td><td>H29 認定者数　２９名
実績　兵庫大学エクステンションカレッジや公民館等での講座において講話</td></tr>
<tr><td>③ひょうご冒険教育（ＨＡＰ）セミナー、講習会
（嬉野台）</td><td>スポーツ指導者等冒険教育を必要とする人のための体験会や、ひょうご冒険教育(HAP)に携わる教職員や指導者等の研修会及び講習会を開催し、指導者の資質向上を図りました。
対象者：社会教育・野外教育・学校教育
生涯学習・企業等の関係者</td><td>開催日：平成 29 年 5 月 4 日、6 月 17･19 日、7 月 10 日、8 月 16・17 日、9 月 24 日、10 月 15 日、11 月 5･25 日、12 月 2 日
30 年 1 月 13・28 日､2 月 10～12･24･28 日､3 月 17 日
場所：嬉野台生涯教育センター
参加者数：延べ 456 名</td></tr>
<tr><td>④野外活動指導者養成講座
（嬉野台）</td><td>野外活動や創作活動等の指導者として必要な知識や技能を習得する機会を提供し、野外活動指導者としての人材を育成する研修を行いました。
対象者：野外活動に関心のある者</td><td>開催日：平成 29 年 7 月 17 日
平成 29 年 12 月 17 日
場所：嬉野台生涯教育センター
参加者数：56 名</td></tr>
<tr><td>⑤全県野外活動フォーラム
（嬉野台）</td><td>県下の野外活動団体指導者等が一堂に会し、それぞれの活動内容、専門性について交流するとともに、野外活動のあり方やマネジメントについて研修を行いました。
対象者：野外活動指導者</td><td>開催日：平成 29 年 12 月 9 日
場所：嬉野台生涯教育センター
参加者数：26 名</td></tr>
</table>

⑥社会教育関係職員研修	ア 新任社会教育関係職員等研修 （協会本部）	新しく社会教育関係職員となった者（２年未満）を対象に、職務を遂行する上で求められる知識や技術を習得するとともに、今後の職務に生かせるビジョンの発見につなげる研修を行いました。 対象者：県及び市町社会教育・生涯学習関係者	開催日:平成 29 年 6 月 8 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数:43 名
	イ 社会教育関係職員スキルアップ研修 （協会本部）	事業実践力や情報発信力をはじめ、住民主体の学びの場を創出するファシリテーション力等、市町の関係職員が社会教育・生涯学習を推進する上で必要となるスキルの向上を図る研修を行いました。 対象者：アと同じ	開催日:(1) 平成 29 年 8 月 29 日 (2) 平成 29 年 9 月 4 日 場所：いなみ野学園 参加者数：延べ 40 名 （実人数 35 名）
	ウ 社会教育主管課長等研修 （協会本部）	社会教育・生涯学習についての動向を学ぶとともに、地域の活力を生かした効果的な推進方策を研究協議し、指導者としての資質向上を図る研修を行いました。 対象者：市町の社会教育・生涯学習主管課長、公民館長等	開催日：平成 29 年 7 月 20 日 場所：いなみ野学園 参加者数：43 名
⑦兵庫教育大学との連携による生涯学習指導者育成研修 （嬉野台）		青少年の体験活動、野外活動に関する基本的な理論と実技を修得する教育実習をセンターで実施・支援するとともに、「うれしの台ユースセミナー」における生活指導員（リーダー）として活動してもらうことにより、学びと実践の一体化を行う研修を実施しました。 対象者：兵庫教育大学２年生	＜教育実習＞（事前研修） 開催日:平成 29 年 6 月 23～24 日 場所:嬉野台生涯教育センター 参加者数：170 名 〈実技〉(うれしの台ﾕｰｽｾﾐﾅｰ) 開催日:平成 29 年 7 月 23～28 日、8 月 6～9 日、24～26 日 12 月 25～27 日 場所:嬉野台生涯教育センター 参加者数：11 ｺｰｽ 延べ 169 名

（４）次代を担う人づくりの支援

事業名	内　　容	実績（日時・場所・回数・人数等）
①うれしの台ユースセミナー （嬉野台）	豊かな感性を育む自然体験、課題解決能力を育む社会体験、自律協調精神を育む生活体験等の様々な体験活動を通じて「たくましいひょうごっ子」を育成するため、多様なメニューの野外活動セミナーを実施しました。 対象者：小・中・高校生	〈サマースクール〉 期間：平成 29 年 7 月 23～28 日 参加者数：4 コース 161 名 期間：平成 29 年 8 月 6～9 日 参加者数：3 コース 131 名 期間：平成 29 年 8 月 24～26 日 参加者数：3 コース 129 名 〈ウインタースクール〉 期間：平成 29 年 12 月 25～27 日 参加者数：3 コース 63 名
②自然学校等学習プログラムの作成支援 （嬉野台）	様々な体験活動を通じて心身の調和、「生きる力」を育むため、自然学校やトライやる・ウィークの受け入れ、総合的な学習の時間への対応、オリエンテーション、集団合宿、課外活動等のための場の提供と、より充実した活動プログラムへの支援を実施しました。 対象者：幼・小・中・高の児童・生徒	・自然学校 受入れ校数　11 校 受入れ人数　1,081 名 ・ひょうご冒険教育（ＨＡＰ） 小学校　9 校 1,102 名 中学校　14 校 1,224 名 高等学校　4 校　248 名 その他（ﾌﾘｰｽｸｰﾙ）1 校 17 名

③ひょうご・ロシアハバロフスク少年少女交流事業 （嬉野台）	ロシアハバロフスクの少年少女を本県が受け入れ、クラブ活動を通じた交流や日本の生活文化の交流を実施した。これらの交流により、国際的な視野をもつ青少年の育成や本県とハバロフスク地方との友好親善を図ることを目的に実施しました。	期間：平成 29 年 7 月 11 ～18 日 場所：嬉野台生涯教育センター他 受入人数：生　徒　7 名 引率者　4 名 計　11 名
④民間団体等の人材育成支援 （嬉野台）	企業や大学、社会教育団体が行う人材育成としての研修会等を誘致し、ひょうご冒険教育等のセンター機能を活用した集団研修を支援しました。 対象者：県民	・ひょうご冒険教育（ＨＡＰ） 企　業　12社　451名 大　学　３校　113名 その他　40団体　1,098名
⑤小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行 （但馬）	小・中学生から作文・詩を募集し、優秀作品を作品集「但馬の子ども」に掲載しました。 生活作文、詩 募集対象：但馬地域の小・中学生	応募期間：平成 29 年 9 月 1 日 ～10 月 23 日 出品数：226 点（小学校 163 点、中学校 63 点） 〈「但馬の子ども」の発行〉 平成 30 年 3 月発行 発行部数：400 部
⑥科学する但馬の子ども作品展、研究集録の発行 （但馬）	理科に基礎をおく研究記録、観察記録、科学工作品や模型などの作品展を開催し、優秀作品を表彰した。 また優秀作品を研究集録として発行しました。 募集対象：但馬地域の小・中学生	〈作品展〉 開催日：平成 29 年 9 月 15～24 日 場所：県立但馬文教府 来場者数：800 人 〈研究集録の発行〉 平成 30 年 3 月発行 発行部数：370 部
⑦みてやま親子ふれあい交流フェスタ （但馬） （活性化事業（新規））	幼児や保護者を対象に、県立こどもに館や子育て支援に関わる活動を行う生活創造グループや教育機関等との連携による遊び体験や育児指導等の親子ふれあいイベントを実施しました。	開催日：平成 29 年 7 月 9 日 場所：県立但馬文教府 内容：コメディ・クラウンサーカス、動く・こどもの館号、和太鼓体験、大学生による手あそび・ペープサート、工作教室など 参加者数：　800 名
⑧科学チャレンジ 2017in 但馬文教府 （但馬） （活性化事業（新規））	理科教育に関してこれまで但馬文教府が培ってきた先導的な取り組みやネットワークを活かし、幅広い団体、教育機関等との連携により、未来の但馬の担い手や世界レベルで活躍する子ども達を育成する事業を実施しました。	開催日：平成 29 年 7 月 29･30 日 場所：県立但馬文教府 内容：ＪＡＸＡコズミックカレッジ、プラネタリウム体験、県教育研修所、県内大学による実験展示・体験、地元高校生による活動発表ほか 参加者数　1,200 名
⑨創作活動体験教室 （但馬） （活性化事業（拡充））	多くの受賞歴を誇る但馬地域の著名な芸術家たちが課題別のコーナーを担当し、わかりやすくポイントを伝えながら指導を行い、子どもたちをはじめ県民による芸術活動の推進を図りました。	開催日　平成 29 年 8 月 6 日 場　所　県立但馬文教府 参加者数　100 名
⑩国生みの島フェスティバル （淡路） （活性化事業（新規））	淡路地域で活動する個人や団体が、子どもの健全育成を目的としたプログラムや日本遺産認定を記念したプログラムを出展し、こころ豊かで健やかな子どもの育成を図りました。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 10 月 1 日 場所：淡路文化会館 参加者数：2,400 名

⑪　教育機関等との連携

ア　兵庫教育大学との連携（協会本部・嬉野台）

兵庫教育大学との連携協定（H22.1.19）に基づき、生涯学習の推進に向けて、連携講座及びユースセミナー等を実施しました。

・連携講座

開 催 日	平成 30 年 2 月 20 日
対 象 者	いなみ野学園２年生
参加者数	231 名
場　　所	いなみ野学園　大講堂
内　　容	・講　演　演題：日本の中の南アジア 講師：兵庫教育大学　教授　南埜　猛

開 催 日	平成 29 年 5 月 17 日
対 象 者	阪神シニアカレッジ　3 年生
参加者数	150 名
場　　所	阪神シニアカレッジ
内　　容	・講　演　演題：生命科学についてー特に iPS 細胞ー 講師：兵庫教育大学大学院教授　吉岡　秀文

・ユースセミナー

開 催 日	平成 29 年 7 月 23 日～28 日、8 月 6 日～9 日、8 月 24 日～26 日、12 月 25 日～27 日
対 象 者	兵庫教育大学生２年生
参加者数	170 名
場　　所	嬉野台生涯教育センター
内　　容	兵庫教育大学の教育実習として野外活動のリーダーを養成

・うれしの春のフェスティバル

開 催 日	平成 29 年 5 月 4 日
対 象 者	兵庫教育大学ネイチャーサークル部学生
参加者数	23 名
場　　所	嬉野台生涯教育センター
内　　容	ネイチャーサークル部代表が「うれしの春のフェスティバル実行委員会」の構成員として参画するとともに、「スタンプラリー」を実施。

・うれしの学園生涯大学

開 催 日	平成 29 年 9 月 13 日
対 象 者	兵庫教育大学生留学生
参加者数	7 名
場　　所	嬉野台生涯教育センター
内　　容	うれしの学園生涯大学 4 年制大学講座 3 年生(64 名)と兵庫教育大学留学生との世代間交流事業として、外国語講座、インタビューコーナーを実施。

イ　兵庫県立大学等との連携（協会本部）

兵庫県立大学等が構成員となっている「産学公人材イノベーション推進協議会」への参加(H28.1.30)や講師派遣等を通して高齢者大学の講座内容の充実を図りました。

ウ　兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携（協会本部・いなみ野）

兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携協定をいなみ野学園から生きがい創造協会に拡充して締結し（H27.4.1)、双方の持つ教育資源を活用し施設利用や科目等履修などの相互交流を深め、多様な「学び」につながる継続的な生涯学習の推進を図りました。

主な内容	・兵庫大学エクステンションカレッジにおいて、いなみ野学園研究生による講義を実施（いなみ野） ・講師派遣等本学園講座への協力、学園行事への後援等（いなみ野） ・兵庫大学学生との学園生とのグループワークによる世代交流（いなみ野） ・兵庫大学の生涯学習プログラム（科目等履修生、エクステンションカレッジ）説明会の実施（いなみ野） ・いなみ野学園同窓研修会主催「夏のつどい」への兵庫大学学生（チアダンス部)、エクステンションカレッジコーラスサークル、付属幼稚園児の出演、大学祭 PR 等（いなみ野） ・兵庫大学祭への同窓研修会サークル・地域活動グループ（太極拳・フラダンス等）の出演 ・双方のポスター、パンフレット等の掲示（いなみ野）

※　その他、兵庫大学施設利用、アンケート調査協力などで連携を行いました。

エ　豊岡短期大学との連携（但馬）

近畿大学豊岡短期大学（現豊岡短期大学）との連携協定に基づき、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的として、異なる世代がともに学び交流する機会を創出し、生涯学習の推進を図りました。

主な内容	・みてやま学園大学院生が、豊岡短期大学生と共に、短期大学講座「介護制度の概要」、「子育てと高齢者の役割」を受講（平成 29 年 5 月 16 日、6 月 13 日） ・豊岡短期大学学園祭「和花季祭」に、みてやま学園大学院生がステージ発表及び模擬店出店（平成 29 年 10 月 28 日～29 日）

オ　甲子園大学との連携（阪神）

甲子園大学において、同大学教授等によるシニアカレッジ学生用の特別講義を実施しました。
また、甲子園大学学生を阪神シニアカレッジに招き、交流を深めました。

主な内容	・甲子園大学における交流講座の実施 カレッジ学生（健康学科）が、甲子園大学に赴き、大学生とともに講座を受講。 また、講義の一環としてグループワークを実施し、交流を深めました。 実施日：平成 29 年 6 月 7 日、14 日、21 日の３回 ・カレッジ健康学科（西宮学習室）における交流講座 カレッジ学生が甲子園大学学生と一緒に「ストレスと上手につきあうために」と題する講義を受講 講師：兵庫県立大学名誉教授　近澤範子 実施日：平成 30 年 1 月 31 日

カ　県立龍野北高等学校との連携（西播磨）

県立龍野北高等学校との連携協定に（H23.2.15）基づき、相互が保有する人的・物的資源を有効活用して、共に学ぶ場の設定、相互学習支援などを行い、地域貢献をめざした人材育成を促進するとともに、生涯学習の促進を図りました。

主な内容	・高校生とゆうゆう学園生との交流学習会（グループディスカッション）の開催 実施日：平成 29 年 7 月 7 日 ・介護体験教室の実施（ゆうゆう学園生がモニターとして参加） 実施日：平成 29 年 9 月 15 日 ・「龍北祭」にゆうゆう学園生が参加 実施日：平成 29 年 11 月 25 日 ・高校生が「ゆうゆう学園祭」でシニア向けのファッションショーを開催 実施日：平成 29 年 11 月 11 日 ・ゆうゆう学園講座に高校生が参加 テーマ：「織錦在郷のこころ～ふるさとに在って錦を織る～」「お母さん　生んでくれて　ありがとう！」「体力測定・軽スポーツ大会」 ・高校生（環境建設工学科）に校外学習の機会を提供するため西播磨文化会館山林地（ゆうゆうの森）にレンガ敷による「憩いのスペース」を施工

キ　兵庫陶芸美術館及び県立考古博物館との連携（協会本部）

兵庫陶芸美術館及び県立考古博物館との連携協定（H25.3.19 及び H26.10.11）に基づき、高齢者大学への講師派遣、講座への助言、園外学習、事業のＰＲ協力などの連携を推進しました。

２　高齢者の生きがいづくりの推進及び支援

（１）高齢者大学による人づくりの推進

①　４年制大学講座等

ア　いなみ野学園（いなみ野）

高齢者が自ら仲間づくりの輪を広げ、生涯学習を通して教養をより高めるとともに、自己の新しい生き方を創造し、地域社会の発展に寄与することのできる総合的な生涯学習の場として４年制大学講座を運営しました。

学　科	園芸	健康づくり	文化	陶芸	計	定員
１年	70 名	126 名	100 名	38 名	334 名	340 名
２年	89 名	81 名	93 名	34 名	297 名	340 名
３年	55 名	81 名	89 名	35 名	260 名	340 名
４年	64 名	83 名	94 名	18 名	259 名	340 名
計	278 名	371 名	376 名	125 名	1,150 名	1,360 名

【参考】平成 30 年度

１年	63 名	97 名	99 名	30 名	289 名	340 名

イ　阪神シニアカレッジ(阪神)

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供する４年制大学講座を運営しました。

学年	園芸	健康	国際理解	計	定員
１年	46 名	56 名	57 名	159 名	150 名
２年	45 名	44 名	46 名	135 名	150 名
３年	41 名	43 名	52 名	136 名	150 名
４年	41 名	41 名	46 名	128 名	150 名
計	173 名	184 名	201 名	558 名	600 名

【参考】平成 30 年度

１年	34 名	64 名	66 名	164 名	160 名

ウ　地域高齢者大学講座（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

生涯学習の一環として、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進する実践者の養成を図るため、学びと実践の一体化をめざした４年制大学講座を各地域で開設しました。

	在 籍 者 数				各定員
	うれしの学園 生涯大学	但馬文教府 みてやま学園	西播磨文化会館 ゆうゆう学園	淡路文化会館 いざなぎ学園	
１年	71 名	46 名	57 名	45 名	60 名
２年	65 名	49 名	54 名	37 名	60 名
３年	66 名	35 名	51 名	55 名	60 名
４年	57 名	36 名	50 名	30 名	60 名
計	259 名	166 名	212 名	167 名	240 名

【参考】平成 30 年度

１年	59 名	46 名	69 名	30 名	60 名

②　高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）（放送大）

広く県内の高齢者に人間としての円熟をめざした生涯学習の機会を提供し、生きがいの創造に寄与することを目的に、ラジオ講座による高齢者放送大学を運営しました。

また、学生相互あるいは学生と講師や職員との交流を深めるため、中央（年２回）、地方（6 地区、各年１回）スクーリングや研修旅行のほか、文芸祭を開催しました。

県内の地域に結成された各放送大学友の会が実施する学習会等に職員を派遣するなどその活動を支援しました。

区　分	本科生	聴講生	生涯聴講生	合計
在籍者数	174 名	42 名	1,828 名	2,044 名
定　員	500 名	定員なし		－

【参考】平成 30 年度

在籍者数	183 名	37 名	1,728 名	1,948 名

③　高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）開設 40 周年記念事業

高齢者放送大学(ひょうごラジオカレッジ)開設 40 周年を迎え、ラジオ講座で記念放送（２企画３番組）を行いました。（番組内容①きたやまおさむ（2 回）②学生出演番組（新規））

④　聴講生制度（いなみ野・阪神）

いなみ野学園、阪神シニアカレッジの高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりを行いました。さらに、「人生１００年時代」に対応して退職後の生き

方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供するとともに、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層に学習機会を提供しました。

聴講生制度の対象者	６０歳未満の学習意欲のある方 ６０歳以上（県高齢者大学入学対象年齢） 　県高齢者大学の学生、卒業生就労、介護等やむを得ない理由で入学困難な方
聴講対象講座	県高齢者大学の学生以外の者：共通講座及び各専門学科講座 県高齢者大学の学生　　：他の専門学科講座 　ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座（講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示）は対象外
聴講料（資料代等の実費）	（いなみ野学園） 県高齢者大学の学生・卒業生　　１講座あたり　　８００円 県高齢者大学の学生・卒業生以外の者　１講座あたり１，０００円 （阪神シニアカレッジ） 県高齢者大学の学生・卒業生　　１講座あたり１，３００円 県高齢者大学の学生・卒業生以外の者　１講座あたり１，５００円
聴講生数	いなみ野学園　延べ 156 人　　阪神シニアカレッジ　延べ 417 人

⑤　いなみ野学園研究生制度の実施（いなみ野）（再掲Ｐ１２）

⑥　高齢者大学カリキュラム編成委員会等による高齢者学習のレベルアップ
（協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

県高齢者大学の目的である「学びによる生きがいづくり、豊かな教養の習得やクラブ活動等の交流による人づくり、学習成果を活かした貢献活動による地域づくり」の達成に資するより適切な講座を学生に提供するため、外部有識者等で構成するカリキュラム編成委員会や運営委員会によるカリキュラム等の検証を行い、より専門的・実践的な講座等への見直しを行いました。

⑦　高齢者大学等運営サポーター制度（協会本部・いなみ野・放送大）

いなみ野学園や高齢者放送大学等において、卒業生等から高齢者大学の講座運営等を支援する運営サポーターを募り、大学での学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図りました。

種　　別	委嘱人数	内　　容	活動実績
みどりのサポーター	34 人	いなみ野学園ガーデニングの日に参加し、いなみ野学園敷地内の庭木や草花の植栽管理活動を行いました。	４日 延べ 88 人
陶芸学科運営サポーター	１人	「テキスト編集サポーター」として、陶芸学科の基礎編テキストを得意のパソコン技術を駆使し、学科主任の指導を受けながら作成しました。	29 年度 実績なし
大学院講座運営サポーター	１人	大学院講座における円滑な講座運営のための講座補助業務を委託しました。	延べ 59 日
大学講座運営サポーター	７人	大学講座における円滑な講座運営のための講座補助業務の委託しました。	延べ 295 日

地域活動支援センター運営サポーター	３人	学生や卒業生による地域活動を促進するために、活動日・内容の調整や情報の発信、指導助言を行いました。	延べ 6 日
ラジオ番組事業サポーター	30 人	ラジオ関西と共同して放送する、いなみ野学園生によるシニア向け情報提供番組の企画、制作、取材、出演を行いました。	53 回
ラジオカレッジサポーター	34 人	毎月発行されるテキストの発送や、スクーリング等の事業開催時に会場準備や受付補助、記録撮影などの活動を行いました。	発送 12 回 行事 4 回

⑧　いなみ野学園生によるシニア向け情報提供番組の放送（いなみ野）

ラジオ関西と共同して、学園生が自主企画・制作したシニア向け情報を提供するラジオ番組を放送しました。

・ラジオ関西　毎週土曜日 6:45～　15 分間　52 回

⑨　いなみ野学園創立 50 周年記念事業の推進（いなみ野学園）

2019 年にいなみ野学園が創立 50 周年となることから、いなみ野学園自治会はじめ、関係者を委員とする実行委員会を立ち上げ、検討を進めた。

実行委員会開催：平成 30 年 1 月 31 日　3 月 9 日

（２）地域づくり活動リーダー等の養成

①　いなみ野学園大学院講座（いなみ野）

より専門性の高い実践的な学習を通じて、地域の力を再発見し、地域の魅力づくり等を支援する能力を養成するため、大学院講座（２年制講座）を運営しました。

学科	地域づくり研究科			計	定員
１年	61 名			61 名	50 名
コース	歴史・文化	健康・福祉	環境・地域	＊2 年よりｺｰｽ分け	
２年	43 名	0 名	0 名	43 名	50 名
計	43 名	0 名	0 名	104 名	100 名

【参考】平成 30 年度

1 年	68 名	50 名	50 名

②　阪神ひと・まち創造講座（阪神）

阪神地域の歴史・文化・産業などの地域の魅力や課題、地域社会における人間関係のあり方、地域活動の実例等を学び、コミュニティ活性化の担い手を養成する２年制講座を運営しました。

学年	在籍者数	定員
１年	22 名	30 名
２年	24 名	30 名
計	46 名	60 名

【参考】平成 30 年度

1 年	22 名	30 名

③　地域活動実践講座（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

４年制大学講座での学習を基礎として生かし、地域における課題をより専門的・実践的に学習し、知識や技能のステップアップを図るとともに、その成果を地域社会に還元する実践者を養成する２年制講座を運営しました。

学年	在籍者数				各定員
	うれしの学園生涯大学	但馬文教府みてやま学園	西播磨文化会館ゆうゆう学園	淡路文化会館いざなぎ学園	
１年	14 名	18 名	23 名	10 名	30 名
２年	21 名	33 名	19 名	2 名	30 名
計	35 名	51 名	42 名	12 名	60 名

【参考】平成 30 年度

１年	12 名	11 名	18 名	7 名	30 名

（３）県内の高齢者大学の交流・支援

①　学ぶ高齢者のつどいの開催

（協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

県内の高齢者大学や高齢者教室で学習する高齢者が一堂に会し、日頃の学習成果の発表と研修を通じて学習を深め、学ぶ高齢者の連帯の輪を広げました。

(中央大会)

区　　分	内　　容
開 催 日	平成 29 年 11 月 24 日(金)
場　　所	兵庫県いなみ野学園　大講堂　大教室
参加者数	350 名
内　　容	・高齢者の主張（各ブロック代表 8 名） ・記念講演 演　題：“運命の船”と 20 年～出会いと学びをありがとう！～ 講　師：株式会社神戸クルーザー　会長　南部　真知子　氏 ・作品展 出品数：７部門　計 143 点

(ブロック大会)

ブロック名	開催日	場所	参加者数
東・北播磨	平成 29 年 9 月 29 日	西脇市総合市民センター	800 名
中・西播磨	平成 29 年 9 月 30 日	上郡町生涯学習支援センター	422 名
但馬	平成 29 年 10 月 4 日	但馬文教府	200 名
丹波	平成 29 年 9 月 29 日	丹波の森公苑	600 名
淡路	平成 29 年 10 月 18 日	淡路文化会館	450 名
いなみ野	平成 29 年 7 月 14 日	いなみ野学園	431 名
放送大学	平成 29 年 9 月 7･8 日	いなみ野学園	170 名

② 高齢者学習研究協議会による交流促進及び支援

（協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

県と市町の高齢者大学等の担当者を対象に、高齢者の生涯学習に関する連携事業の実施、共同研究及び情報交換を図る場を設けることにより、県内の高齢者学習の質的向上と一体的な推進を図りました。

区　　分	回　数	参加者数
ブロック代表者会議	3 回	61 名
各ブロック会議	23 回	414 名
担当者研修会	4 回	132 名
計	30 回	607 名

③ 生涯学習推進アドバイザー派遣（協会本部）（再掲Ｐ９）

（４）地域づくり活動の普及促進

① 地域活動支援センターの運営（いなみ野・阪神）

ア 地域活動促進の支援体制づくり

県高齢者大学の学生や卒業生等が行う地域活動を促進するため、いなみ野学園と阪神シニアカレッジにおいて、学生や卒業生等へのボランティア情報の提供やボランティアグループの活動を支援する「地域活動支援センター」を設置しました。また、県民交流広場を支援するボランティアグループの事業を助成するなど、地域高齢者大学がこれまで培ってきた仕組みの充実に努めました。

施 設 名	いなみ野学園	阪神シニアカレッジ
場　　所	地活第２教室	伊丹教室
主な機能	・グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり ・地域活動の企画・運営に関する相談 ・研修会、講演会の開催 ・広報紙の発行など活動成果の情報発信	

イ 自主的地域活動等への支援

いなみ野学園の同窓研修会と学生自治会等が一体となって、所属グループのボランティア活動や交流の促進を目指す「いなみ野学園交流活動連絡協議会」の取り組みを支援しました。

また、いなみ野学園生が自主的な社会貢献に取り組めるよう「地域活動の日」を設定し、学生自治会が支部単位で行う地域清掃活動等の取り組みを促進しました。

さらに、いなみ野学園同窓研修会が主催する「地域＆世代間交流『夏のつどい』」（第 11 回；平成 29 年 8 月 19 日）を支援しました。

② 地域づくり活動を支援する仕組みの充実（嬉野台・但馬・西播磨）

嬉野台生涯教育センター及び但馬文教府では、一般県民からの生涯学習に関する学習相談等に対応するため、県高齢者大学の在学生や卒業生を地域づくりに向けたボランティア団体である生活創造応援隊又は生活創造活動グループとして組織し、学校、公民館、社会福祉施設等に登録グループとして紹介しました。

また、西播磨文化会館では、大学院の修了者を学習支援員として登録しており、西播磨高齢者大学や他の高齢者大学における講師として講義を依頼しました。

（５）生きがいづくり活動の支援

① シニアニュースポーツの普及支援（協会本部）

ア シニアニュースポーツ普及指導員クラブへの支援

協会が養成したシニアニュースポーツ普及指導員が、各地域で行う指導員クラブの地区大会等の活動を支援するとともに、県の高齢者大学における指導員の普及活動を支援しました。

イ シニアニュースポーツイベントの開催

シニアニュースポーツの普及促進のため、当協会が開発したツゥゲットボールの全県大会等を開催しました。

【ツゥゲットボール大会の開催】

・全県大会　開 催 日：平成 29 年 11 月 6 日
　会　　場：嬉野台生涯教育センター　多目的グラウンド
　　参加者数：160 名（32 チーム）

・地区大会　阪神、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路

② 全国健康福祉祭への選手派遣（協会本部）

秋田県で開催された第 30 回全国健康福祉祭（ねんりんピック）に兵庫県選手団を派遣しました。

会　期：平成 29 年 9 月 9～12 日
選手団：166 名（22 種目）
入賞数：１９（優勝：５、準優勝：３、３位：２、優秀賞：９）

③ 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味の園芸や創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを展示照会するとともに販売する場として高齢者手づくりの店を運営しました。

出品物：陶芸品、手芸品、絵画、水墨画、俳句、書（軸物）、彫刻、野菜、花、苗など

④ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、家庭や世代間の心のふれあいと交流を図る場として高齢者園芸センターを運営しました。

ア 指導者付貸し農園

ファミリーファーム総区画数		利用区画数
①16.5 ㎡／区画	395 区画	311 区画
②30.0 ㎡／区画	14 区画	4 区画
③32.0 ㎡／区画	39 区画	36 区画

イ　園芸講座の開催

野菜と果樹の栽培管理技術について、園芸センター所長が年間１０回園芸講座を開設し、貸農園利用者及び一般県民に座学と実技指導を行いました。（貸農園利用者は無料）

ウ　野菜・草花・果物・苗等の販売

園芸センターで収穫した新鮮で安価な野菜等を、園芸センター、いなみ野学園手づくりの店及び近隣の幼稚園等で販売しました。

また、近隣の幼稚園児を招き、サツマイモの苗植え体験や芋掘り体験を実施しました。

⑤　高齢者陶芸の村（協会本部）

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがいを創造する場として、会員の自主運営により運営しました。

会員は週２回作陶してその作品を兵庫県公館で開催されている公館展に出展するとともに、いなみ野祭等でも展示を行いました。

また、高齢者のみならず地域の人々にも施設を開放し、講師が作陶指導を行い広く陶芸の普及と世代間交流を図りました。

・会員数　160 名　　一般利用者（延べ人数）2,113 名

３　地域文化活動の振興及び支援

（１）地域文化活動の振興

事業名		内　　容	実　　績 （日時・場所・回数・人数等）
①嬉野台生涯教育センター	ア うれしの春のフェスティバル	施設開放を行い、文化、スポーツ、地域活動交流などの活動を通じて、家族間、世代間・地域間の交流を深めるイベントを実施しました。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 5 月 4 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：約 5,000 名
	イ 東はりま大茶会（東播磨文化団体連合会、東はりま大茶会実行委員会）	茶道文化の交流事業を実施し、伝統文化の保存・継承を図るとともに地域文化の振興に資するための茶会を開催しました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 29 年 10 月 15 日 場所：加古川プラザホテル 参加者数：800 名
	ウ 東はりまみんよう大会（東播磨文化団体連合会、東はりまみんよう大会実行委員会）	みんように取り組む団体の交流事業を実施し、伝統芸能の継承を図ることにより地域文化の振興を図るための大会を開催しました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 30 年 1 月 28 日 場所：明石市立市民会館 参加者数：350 名
	エ 東はりまコーラス大会（東播磨文化団体連合会、東はりまコーラス大会実行委員会）	合唱団体による発表と交流の場を提供することで、音楽団体の育成を図るとともに、地域文化の振興に資するための大会を開催しました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 29 年 10 月 22 日 場所：多可町文化会館 参加者数：台風 21 号警報のため中止

	オ 東はりま芸能祭（東播磨文化団体連合会、東はりま芸能祭実行委員会）	芸術活動を進める団体に発表の場と交流の機会を提供し、団体の育成を図るとともに、広く県民に鑑賞の場を設けることで地域文化の振興を図るための芸能祭を開催しました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 30 年 2 月 25 日 場所：西脇市民会館 参加者数：500 名
	カ 東播磨選抜美術展（東播磨文化団体連合会、東播磨選抜美術展実行委員会）	公募による美術展を開催し、優れた作品にふれる機会を設けるとともに、創作意欲を喚起することで地域における文化活動の活性化を図るための美術展を開催しました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 30 年 2 月 23 日～25 日 場所：播磨町中央公民館 参加者数：600 名
	キ 東播磨の地域文化を考える会（東播磨文化団体連合会）	県内各市町文化協会・団体の会長及び会員が一堂に会し、各地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 30 年 3 月 3 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：144 名
②但馬文教府	ア 文教府夏期大学	県民の教養を高め、こころ豊かに暮らすため、各界の第一人者を招き講演会を開催しました。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 8 月 19 日 場所：豊岡市民会館文化ホール 講師：高田　明氏 　　金　美齢氏 参加者数：1,100 人
	イ 但馬美術展	日本画・油彩画・水彩画・版画・ﾐｸｽﾄﾒﾃﾞｨｱの 5 部門からなる公募展を実施し、表彰しました。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 8 月 4 日～12 日 出品者数：54 人（59 点） 観覧者数：940 人
	ウ ふるさとのこころをうたう但馬合唱祭	但馬各地の合唱団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表しあい、交流の輪を広げる合唱祭を開催しました。 対象者：県民、但馬地域の合唱ｸﾞﾙｰﾌﾟ	開催日：平成 29 年 11 月 23 日 場所：養父市立八鹿文化会館 参加者数：1150 人 参加団体：43 団体
	エ 但馬歴史講演会	但馬史への理解を深め郷土愛を育むため、但馬の歴史や遺跡等についての講演会を実施しました。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 12 月 10 日 場所：但馬文教府 参加者数：91 人
	オ 但馬文学のつどい、作品集の発行	〈但馬文学のつどい〉 短歌、俳句、冠句、川柳の合同作品展と研さん交流の会を開催しました。 対象者：但馬地域の県民、児童・生徒 <作品集の発行> 但馬在住者及び但馬のグループに所属する人を対象に各結社に短歌・俳句・冠句・川柳を募集し、『たじま作品集』として発行しました。 対象者：但馬地域の県民	〈但馬文学のつどい〉 開催日：平成 29 年 11 月 18 日 応募数：一般 255 点、 　　児童生徒 1,595 点 参加者数：204 人 〈『たじま作品集』の発行〉 募集期間：平成 29 年 10 月 27 日～12 月 21 日 平成 30 年 3 月発行 発行部数：500 部

③西播磨文化会館	ｱ　播州段文音頭大会	地域に唄い継がれてきた播州段文音頭の保存会が一堂に集まって交流することで、活動の活性化とともに、地域文化の振興を図る大会を開催しました。 対象者：西播磨文化協会連絡協議会加盟の播州段文音頭保存会等、県民	開催日：平成 29 年 8 月 26 日 場　所：西播磨文化会館 参加者数：300 名
	ｲ ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭	中播磨・西播磨各地で活動しています合唱団等の音楽活動団体に発表と交流の場を提供し、それら団体の育成を図るとともに、中播磨・西播磨の特色ある芸術文化活動の向上を図る合唱祭を開催しました。 対象者：県民、中播磨・西播磨地域の合唱グループ	開催日：平成 29 年 12 月 3 日 場　所：山崎文化会館 参加者数：343 名 参加団体:中・西播磨地域の合唱ｸﾞﾙｰﾌﾟ 14 団体
	ｳ 西播磨ふるさと写真展	〈写真展〉 作品をとおし、ふるさとを見つめ、そこに生きる人、歴史、文化、そしてそれらを育んだ自然の偉大さを感じる中で明日の中・西播磨を考える契機にします。 また、作品の鑑賞を通して、互いの技量の向上や交流の輪の拡大を目指し、地域文化の活性化を図る写真展を開催しました。 テーマ:中・西播磨の自然と文化 対象者：県民 〈巡回展〉 上記の写真展を中播磨・西播磨管内各市町で巡回展示する巡回展を開催し、広くふるさと意識の醸成を図りました。	〈写真展〉 期間:平成 29 年 9 月 9 日～15 日 実施場所：西播磨文化会館 入場者数：504 名 〈巡回展〉 期間：平成 29 年 10 月 12 日～11 月 2 日 場所：光都プラザ「オプトピア」 入場者数：100 名 期間：平成 29 年 11 月 8 日～16 日 場所：赤穂市民会館１Ｆロビー 入場者数：320 名 期間：平成 29 年 11 月 24 日～12 月 13 日 場所：ギャラリー＆喫茶やまだ 入場者数：100 名 期間：平成 29 年 12 月 19 日～27 日 場所：宍粟市役所１Ｆロビー 入場者数：140 名 期間：平成 30 年 1 月 11 日～19 日 場所：相生市文化会館市民ｷﾞｬﾚﾘｱ 入場者数：1,300 名 期間：平成 30 年 2 月 1 日～7 日 場所：姫路市立香寺公民館 入場者数：647 名 期間：平成 30 年 2 月 10 日～19 日 場所：さよう文化情報センター 入場者数：660 名 期間：平成 30 年 2 月 20 日～28 日 場所：上郡町生涯学習支援ｾﾝﾀｰ 入場者数：605 名

	ｴ 西播磨短歌祭	中播磨・西播磨地域の短歌愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図る短歌祭を開催しました。 対象者：中・西播磨地域在住または在勤（学）の方 中・西播磨地域の歌会に所属する方	開催日：平成 29 年 11 月 5 日 場　所：西播磨文化会館 応募数：939 首（873 名）
	ｵ 西播磨俳句祭	中播磨・西播磨地域の俳句の愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図る俳句祭を開催しました。 対象者：中・西播磨地域在住または在勤（学）の方 中・西播磨地域の句会に所属する方	開催日：平成 29 年 10 月 21 日 場　所：西播磨文化会館 応募数：1,917 句（1,321 名）
④淡路文化会館	ｱ 淡路人形浄瑠璃の振興	淡路人形浄瑠璃の継承と発展を促すため、“人形浄瑠璃のふるさと”西宮～淡路～徳島～京都と連携し、様々な公演事業に取り組み、淡路人形浄瑠璃の魅力を発信するとともに、振興と併せて後継者の育成を図りました。	〈淡路人形浄瑠璃県内巡回公演〉 開催日：平成 30 年 2 月 4 日 場所：加西市民会館大ホール（加西市） 参加者：767 名 〈教育関係者向け淡路人形浄瑠璃体験講座〉 開催日：平成 29 年 8 月 3 日 場所：南あわじ市福良公民館淡路人形座 参加者：28 名
	ｲ 淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会	淡路人形浄瑠璃やそれが伝播した阿波人形浄瑠璃など、淡路に影響を受けた全国の人形浄瑠璃後継者団体等と連携し、人形浄瑠璃の鑑賞や公演、交流の場をつくり、後継者の育成につながる機会とする発表会を開催するとともに、各団体のネットワーク化及び全国への情報発信を行いました。 出演者：島内外後継者団体（中・高校他） 対象者：県民	〈後継者交流会〉 開催日：平成 29 年 7 月 22 日 場所：洲本市文化体育館 参加者：99 名 〈後継者団体発表会〉 開催日：平成 29 年 7 月 23 日 場所：洲本市文化体育館 参加者：750 名
	ｳ 淡路島民俗芸能フェスティバル	淡路人形浄瑠璃等の伝統的な芸能や地域に根差した郷土芸能及び淡路島をテーマにした創作芸能等に取り組む団体と徳島で活動する伝統芸能等に関わる団体等が一堂に会し、それぞれの持つ芸能の魅力を島内外に広く発信するフェスティバルを開催するとともに、後継者の育成や発掘を図りました。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 11 月 19 日 場所：淡路文化会館 参加者：500 名
	ｴ 淡路だんじり唄コンクール	淡路の伝統芸能である「だんじり唄」の保存・継承をめざしてコンクールを開催し、地域文化の発展を図りました。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 4 月 23 日 場所：南あわじ市中央公民館 参加者：900 名

	オ 淡路日本画セミナー	日本画の基本及び創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培うことを目的としてセミナーを開催しました。 対象者：県民	実施回数：10 回 参加者：初級コース 26 名 中級コース 17 名
	カ 淡路洋画セミナー	洋画の基本及び創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培うことを目的としてセミナーを開催しました。 対象者：県民	実施回数：10 回 参加者：40 名
	キ スプリングコンサート	淡路島内の音楽関係団体や愛好家に発表と交流の機会を提供し、淡路地域の声楽芸術文化活動の向上及び裾野の拡大を図るコンサートを開催しました。 対象者：県民	開催日：平成 30 年 3 月 4 日 場所：ひがしうら文化館 サンシャインホール 参加者：240 名
	ク 第 36 回全淡短歌祭	短歌作品を募集し、入選者を選定するとともに、作品の講評や講演会を通して、淡路地域の短歌愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。	開催日：平成 29 年 7 月 15 日
	ケ 第 41 回淡路島俳句大会	俳句作品を募集し、入選者を選定するとともに、作品の鑑賞をとおして、淡路地域の俳句愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。	開催日：平成 29 年 11 月 12 日
	コ 第 39 回淡路文学作品展	淡路島内の短歌・俳句・雑排作品を作者自身の手で書写し、発表展示することで、淡路における短詩型文学の振興を図りました。	開催日：平成 29 年 11 月 29 日 ～12 月 15 日

（２）地域文化活動の支援

事業名		内　　容	実　　績 （日時・場所・回数・人数等）
①嬉野台生涯教育センター	ア 東播磨文化団体連合会への支援	東・北播磨地域内の各種文化団体の連携と研修を深め、地域の芸術文化の高揚を図ることを目的として設立された東播磨文化団体連合会が実施する各種事業や活動に対する支援を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	〈役員会・理事会・定期総会〉 開催日：平成 29 年 5 月 27 日 場所：嬉野台生涯教育センター 〈各事業〉 開催時期：平成 29 年 10 月～30 年 3 月 〈みんよう大会〉場所：明石市 参加者数:350 名 〈大茶会〉　場所：加古川市 参加者数:800 名 〈コーラス大会〉場所：多可町 参加者数:中止 〈美術展〉　場所：播磨町 参加者数:600 名 〈芸能祭〉　場所：西脇市 参加者数:500 名 〈地域文化を考える会〉場所:嬉野台生涯教育センター 参加者数：144 名 〈「東はりま文化子午線」の刊行〉 平成 30 年 3 月発行 発行部数：1,500 部

②但馬文教府	ｱ 但馬文化協会への支援	但馬地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された但馬文化協会の事務局を運営するなど同協会が実施する各種事業や活動に対する支援を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	〈ふるさと文化賞推薦〉 1 団体(養父市ねってい相撲) 〈ともしびの賞推薦〉 1 名(松田康男 氏) 〈但馬美術展〉 但馬文化協会長賞の授与 開催日：平成 29 年 8 月 5 日～12 日 〈但馬合唱祭〉 開催日：平成 29 年 11 月 23 日
	ｲ 但馬芸術文化会議への支援	但馬地域住民の芸術・文化活動の振興を目的として設立された但馬芸術文化会議の事務局を運営するなど、同会議が実施する各種事業や活動に対する支援を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	〈常任理事会・総会〉 開催日：平成 29 年 4 月 15 日 〈会員交流会〉 開催日：平成 29 年 4 月 15 日 〈講師派遣事業〉 実施回数：１回 〈但馬文化賞・但馬青少年文化奨励賞〉 但馬文化賞：岸本聖城(書家) 但馬青少年文化奨励賞: 兵庫県立浜坂高等学校 麒麟獅子舞サークル
	ｳ 但馬美術協会への支援	但馬地域の美術(絵画)振興を図り、郷土文化の向上に寄与することを目的として設立された但馬美術協会の事務局を運営する等同協会が実施する各種事業や活動に対する支援を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	・但馬美術展の開催、開催にむけた募集と広報活動 開催期間：平成 29 年 8 月 4 日～11 日 ・但馬美術展における但馬文教府長賞の授与
	ｴ 但馬市郡婦人会連絡協議会への支援	但馬各市町地域婦人会相互の連絡を密にし、但馬のくらしと文化の促進を図り、婦人の資質向上と地域の発展を目指すことを目的として設立された但馬市郡婦人会連絡協議会の事務局を運営するなど同協議会が実施する各種事業や活動に対する支援を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	〈但馬市郡婦人会交流会〉 開催日：平成 29 年７月５日 場所：浜坂多目的ホール (新温泉町)
③西播磨文化会館	ｱ 西播磨文化協会連絡協議会への支援	中播磨・西播磨地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された西播磨文化協会連絡協議会が取り組む各種事業や活動に対して支援を行いました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	〈西播磨文化協議会研修会〉 開催日：平成 29 年 6 月 7 日 場　所：西播磨文化会館 参加者数：71 名 〈西播磨地域ふれあい文化交流会〉 開催日：平成 29 年 11 月 15 日 場所：西播磨文化会館 参加者数：75 名 〈新年文化交流会〉 開催日：平成 30 年 1 月 10 日 場所：西播磨文化会館 参加者数：98 名 〈機関誌「西播磨文化」の発行〉 発行日：平成 30 年 3 月 1 日 発行部数：1,000 部 〈西播磨文化巻頭論文集の発行〉 発行日：平成 30 年 3 月 1 日 発行部数：1,000 部

④淡路文化会館	ｱ 淡路文化団体連絡協議会への支援	淡路地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された淡路文化団体連絡協議会の事務局を運営するなど同協議会が実施する各種事業や活動に対する支援を行いました。	〈淡路芸術文化祭〉 淡路地域の団体が実施する芸術文化活動に関する情報を集約、発信した。 参加事業：36 事業 参加者数：18,000 名 〈第 36 回全淡短歌祭〉 開催日：平成 29 年 7 月 15 日 場所：洲本図書館 参加者数：43 名 〈第 41 回淡路島俳句大会〉 開催日：平成 29 年 11 月 12 日 場所：淡路文化史料館 参加者数：46 名 〈第 39 回淡路文学作品展〉 開催日：平成 29 年 11 月 29 日 ～12 月 15 日 場所：淡路文化史料館 参加者数：330 名 〈ふるさと文化交流事業〉 開催日：平成 29 年 8 月 19 日 場所：南あわじ市中央公民館 参加者：22 名 〈文化情報誌「あわじ」第 25 号〉 発行日：平成 30 年 3 月発行 発行部数：850 部

4　財団の健全運営及び県立施設の適正管理

（1）財団の健全運営

①　協会幹部会議の運営（協会本部）

協会幹部による会議において、各施設における活動の情報共有を図るとともに、経費節減及び収入増のための取組等を協議したほか、「生きがい創造会議未来 100」において経営ビジョン策定やいなみ野学園 50 周年記念事業に関して情報共有を進め、その円滑な推進を図りました。

・生きがい創造会議未来 100　４回開催（平成 29 年 4 月 30 日、5 月 22 日、6 月 29 日、8 月 22 日）

②　広報推進員制度等による情報発信（協会本部）

協会のイメージアップを図る広報戦略を推進するため、「広報推進員制度」を活用し、各施設・事業ごとの適切な広報計画の作成や、時宜を得た広報事業を展開するとともに積極的な情報発信に努めました。

（2）便利で親しまれる県立施設の管理運営（協会本部・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

①　県立施設の効率的な運営

県から指定管理を受託している嬉野台生涯教育センター、但馬文教府、西播磨文化会館及び淡路文化会館については、協会と各施設が一体となって、効率的運営のための方策を協議・実施してきました。

② **文化会館等の活性化（新規）**

文化会館等において、日常的･継続的な賑わいを創出するため、活性化事業を実施しました。

事業名		内　　容	実績（日時・場所・回数・人数等）
①嬉野台生涯教育センター	**北播磨人意識醸成事業（新規）**	「ふるさと北播磨発見！講座」を３回開催し、北播磨地域の歴史や文化を再認識・発信することにより“ふるさと意識”の醸成を図りました。	開催日： ①平成 30 年２月３日 ②平成 30 年２月 18 日 ③平成 30 年３月４日 場所：嬉野台生涯教育センター 内容：①ふるさと北播磨発見！フォーラム ・基調講演、落語、トークセッション ②「加古川流域史～近世の東播磨～」 ③「風土記の中の北播磨」 参加者数：770 名
	北播磨冒険広場たまり場事業（拡充）	嬉野台生涯教育センターにある HAP（ひょうご冒険教育）施設を地域住民や地元大学生等を含め広く無料開放し、体験・交流による地域のにぎわいづくりを行いました。	開催日： 平成 29 年５月～平成 30 年１月 場所：嬉野台生涯教育センター 内容： ①「ＨＡＰオープンＤＡＹ」 個人でハイエレメント体験 平成 29 年 5 月 4 日､11 月 5 日 ②「ＨＡＰオープンＤＡＹプレミア」 グループで半日エレメント体験 平成 29 年８月 16 日、９月 24 日、10 月 15 日 ③「ＨＡＰオープンＤＡＹアカデミー」 平成 29 年６月 17 日、８月 17 日、11 月 25 日、平成 30 年１月 13 日、１月 28 日 参加者数：357 名
②但馬文教府	**科学チャレンジ 2017in 但馬文教府（新規）**	理科教育に関してこれまで但馬文教府が培ってきた先導的な取り組みやネットワークを活かし、幅広い団体、教育機関等との連携により、未来の但馬の担い手や世界レベルで活躍する子ども達を育成する事業を実施しました。	開催日：平成 29 年７月 29 日、30 日 場所：但馬文教府 内容：ＪＡＸＡコズミックカレッジ、プラネタリウム体験、県教育研修所、県内大学による実験展示･体験、地元高校生による活動発表ほか 参加者数　1,200 名
	但馬ふるさと芸術文化祭（新規）	これまで文教府と連携して芸術文化の振興に取り組んできた芸術文化団体や芸術家等とのネットワークを活かし、日頃の成果を発表するとともに、地域の芸術文化のさらなる振興を図る事業を実施しました。	開催日： ［ステージの部］平成 29 年 11 月 11 日 ［展示の部］平成 29 年 11 月９日～12 日 場所：但馬文教府 内容： ［ステージの部］　創作ダンス（近畿大学付属中学校ダンス部）、合唱（男性合唱団ｴﾙﾄﾞﾗｰﾄﾞ他）日本舞踊（但馬舞踊協会）、郷土芸能（羽渕獅子舞、九鹿ざんざか踊り）、特別公演（淡路人形浄瑠璃） ［展示の部］但馬芸術文化会議会員による作品展 参加者数:　800 名

	みてやま朝市（新規）	みてやま学園学生や利用団体等の活動を支援するとともに、地域の方々との交流を促進し、施設の賑わいを創出するため、学生等の参画による「朝市」を開催しました。	開催日：平成29年6月～12月 （計１１回開催） 場所：但馬文教府 内容：みてやま学園学生、文教府サポーター、特別支援学校生徒等による手作り品、農産物等の販売 参加者数：1,960名
	周年記念事業（拡充）	但馬文教府が長年にわたり県民の参画・協働のもと先駆的に取り組んできた特色ある事業が節目の年を迎えることを記念し、その意義や成果を県民に周知しました。	［第50回文教府夏期大学］ 開催日　平成29年8月19日 場　所　豊岡市民会館 参加者数　1,100名 ［第50回科学する但馬の子ども作品展］ 開催日　平成29年9月15日～24日 場　所　但馬文教府 参加者数　800名 ［第40回但馬美術展・創作活動体験教室］ 開催日　平成29年8月4日～11日 場　所　但馬文教府 参加者数　940名 ［みてやま学園特別公開講座］ 開催日　平成29年8月4日～11日 （計６回実施） 場　所　但馬文教府 参加者数　1,500名
	但馬文庫所蔵資料の活用促進（拡充）	但馬地域における貴重な郷土資料の収集・保存に取り組んできた「但馬文庫」について、社会教育施設と連携し、今後に向けて新たな利活用、情報発信を図りました。	実施日　平成29年4月1日～ 平成30年３月31日 場　所　朝来市埋蔵文化財センター 「古代あさご館」 観覧者数　約3万名 内　容:所蔵資料「楽音寺瓦経」の同館での寄託展示
③西播磨文化会館	にしはりまキッズフェスティバル（新規）	中・西播磨地域において文化活動を行っている子どもが一堂に会し、日頃の練習成果を発表する機会を設けました。	開催日：平成29年8月5日 場　所：西播磨文化会館 参加者：300名
	播磨「歴史・地域学」講座（新規）	中・西播磨地域の歴史・文化・産業等を学ぶ講座を実施するとともに、地元への愛着・ふるさと意識の向上に寄与しました。また、地域の歴史・文化等関連図書を整備することにより、文化会館が歴史等に関心のある人の「たまり場」となることを期待しています。	【講演】 開催日：平成29年10月11日 10月25日 12月20日 場　所：西播磨文化会館 開催日：平成29年11月29日 場　所：市川町文化センター 開催日：平成30年1月24日 場　所：相生市文化会館 【講義・現地見学会】 開催日：平成29年11月14日 場所：西播磨文化会館、伊和神社・庭田神社 総参加者数：1,259名

	西播磨ふるさと文化祭 2017（新規）	子どもから高齢者まで参加できるように、生活創造活動グループ、地域団体、高齢者大学生、地元高校生等が参加して展示・出店・発表等を行うだけでなく、プロのミュージシャンも参加する大規模イベントを開催しました。	開催日：平成 29 年 11 月 26 日 場　所：西播磨文化会館 参加者：1,000 名
	ゆうゆうの森音楽フェスティバル（新規）	音楽会を定期的に開催し、西播磨地域の音楽文化の振興を図る。また、施設を音楽の会場・練習場として利用促進につなげました。	開催日：平成 29 年 12 月 16 日 場　所：西播磨文化会館 内　容：オカリナコンサート 参加者：300 名
④淡路文化会館	日本遺産認定記念国生みの島フェスティバル（拡充）	淡路地域で活動する団体や個人が、子どもの健全育成を目的としたプログラムや日本遺産認定を記念したプログラムを出展し、こころ豊かで健やかな子どもの育成を図った。	実施日　平成 29 年 10 月 1 日 場　所　淡路文化会館 参加者数　2,400 名
	日本遺産認定記念セミナー（新規）	淡路島の日本遺産認定を記念して、淡路島に関する地域公開講座を開催し、地域住民にふるさとに眠る地域資源に目を向けていただく機会とした。	実施日　平成 29 年 12 月 16 日 平成 30 年 1 月 27 日 平成 30 年 2 月 17 日 場　所　淡路文化会館 参加者数　243 名
	文化・教養・スポーツに関する入門講座（新規）	文化・教養・スポーツ等に関する講座を開設し、地域住民に文化活動に親しんでいただく機会を提供した。	実施日　平成 29 年 10 月 3 日、10 日、16 日、30 日、31 日、11 月 6 日、7 日、14 日、20 日、27 日、12 月 4 日、8 日、18 日、平成 30 年 1 月 9 日、16 日、22 日、2 月 5 日、6 日、26 日、3 月 5 日、6 日、12 日 場　所　淡路文化会館 参加者数　延べ 303 名
	生活創造活動グループ交流会（拡充）	淡路文化会館を拠点とした生活創造活動の活性化を図るため、淡路文化会館に登録している生活創造活動グループが日頃の成果を発表する場を設けました。	実施日　平成 29 年 7 月 8 日 場　所　淡路文化会館 参加者数　224 名
	地域情報等提供事業（新規）	淡路文化会館をより活用していただけるよう、ホームページを中心に文化情報、生活創造活動情報を提供した。また、これに必要なシステム改良などの環境整備を併せて行いました。	完了日　平成 30 年 3 月 30 日